

No. H20吉上-4	平成20年度	四国山地砂防事務所	論文種類		
キーワード	作業情報の共有				
論文名	朝谷地区山腹工工事における安全対策について		嶺北建設業協同組合	監理技術者: 仮谷秀寿	

■工事概要

工事名	平成19-20年度 つえ谷山腹工工事	概要	山腹工工事
工事場所	高知県土佐郡大川村川崎地先(朝谷地先)		
工期	平成20年3月25日～平成20年12月26日		

●安全対策の目的・課題

本工事は、朝谷地区での山腹工工事であり、施工区間が縦長であり、中央付近に資材を搬入する為のケーブルクレーンが設置されています。作業場所内では、重機及び作業員が多数作業しており、重機災害・ケーブルクレーン災害に対する対策が必要と思われ、安全対策を行なった。

朝谷地区写真



●安全対策の特徴・着眼点

1. 安全意識の高揚

朝礼・KY活動等を行い、全員参加による安全な作業に対する取組みを行なう。

2. 作業情報の共有

作業合図等をトランシーバーにより行い、周囲の作業状況を全作業員が把握することで災害を防止する。

3. 作業指揮者による安全確保

作業指揮者の指揮により作業員の危険な行動、危険な場所での作業を防止する。

ラジオ体操



朝礼



KY活動



安全掲示板



●取り組み概要

1日の始まりであるラジオ体操を作業員全員により行い、体の状態をアイドリングから作業モードに切り替えます。その後で朝礼を行い、本日の作業内容・指示事項・注意点について打ち合わせを行い、KY活動を行います。朝礼場所の前には、当月の安全目標・対策項目等の安全関係が一目でわかるように掲示し安全意識の高揚に努めています。

次に作業情報の共有ですが、ケーブルクレーン・重機への作業合図をトランシーバーにより行なう事とし、トランシーバーを複数台用意し、ウインチマン・重機オペレーター・作業員・合図者・作業指揮者が携帯する事で、機械等の作業状況がリアルタイムでだれにでも判り、ケーブルクレーン災害及び、重機災害が防止されています。また、重機オペレーター・ウインチマンも安心して作業を行なう事が出来ます。

合図者



作業指揮者



そして、作業指揮者が全体の作業状態を見ながら、作業員への作業場所の指示、作業合図等を行ないます。重機と作業員の作業場所の分離、また、ケーブルクレーン使用時には、線下から離れた場所での作業など、安全を確保しながら、作業を行なっています。